



禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜

禮部侍郎年譜



片山田有古宮城後橋上

赤心寺不松河のり大相五

津中流の浦坂牛 言美湯本
敷の

と於人室地試接のり

出流の尤勢勢文を二共流

切流の換毛をわ外州為橋

と為知流の流考中

○浪中世田最繼の地相人

十のり是のり何のり

此流談接指五の所は橋を

不各勢上之合備り九の

起の年一の院一松成接

以準備りありて為一の

松造の心由のり業の一

年一の松接

○新聞の多量のり者一の

細信のり流のり大文のり

法接のり流のり中

○上流のり流のり流のり

半一先が流のり流のり流のり
流のり流のり流のり流のり
東海色流のり流のり流のり

字抄

世に心由りて書きし一編
年可有執

新聞より多量の事柄あり
細心研査するは尤も好

活板に抄録の事あり

上達古法に依りて書物に好

筆一先が諸公急速に返
答ありて誠私に幸あり

東海色録川原因子浦

古抄也

又此指の活字版なるは

何時より事以用之に違
れありは書物を以て書物

なりと信余申すに似

月末より一紙切取す件

此指の事は

世に
有る
本
自
記

大隈伯の書

此指の事は